

相撲で賑わう街、両国の探訪

両国はお正月が明けると大相撲初場所で賑わいます。江戸の昔、観光地として浅草と人気を二分した両国には、江戸東京博物館、国技館といった伝統文化に存分に浸れる施設があり、葛飾北斎の生まれた隣の亀沢や横網には江戸職人技を受け継ぐ工房も残っています。そんな両国を講座と街歩きで心ゆくまで楽しみます。



◆ 日時

2009年1月10日(土) 9時45分～16時45分

◆ 内容とスケジュール

- ① 9時45分 両国駅西口広場集合(下図)
- ② 10時～10時30分 国技館(JR 両国駅西口3分)
大相撲初場所前日に行われる神事「土俵まつり」(解説参照)を見学します。
- ③ 10時45分～12時30分 江戸東京博物館学習室1
墨田区観光プロフェッサーの千葉良規氏(解説参照)のお話
両国の歴史、見所に加え、新東京タワー、スカイツリーや葛飾北斎館
の建設計画など、最近の区内観光の動きなどをご紹介します。
- ④ 12時45分～13時45分 ちゃんこ料理屋「巴淵」で昼食(希望者のみ)
各種のメディアで紹介されている「ちゃんこの名店」です。
- ⑤ 14時～16時30分 「すみだ観光ボランティアガイド」による両国の街歩き
回向院⇒旧両国橋・広小路⇒春日野部屋前⇒袋もの博物館⇒出羽の
屋前⇒塩原太助住居跡(⇒大川屋)⇒吉良邸跡⇒相撲写真資料館⇒
風部屋前⇒勝海舟生誕地⇒桐の博物館(⇒中田屋茶舗⇒相撲グッズ
⇒両国駅のコースを予定しています。



海部
時津
高橋)

◆ 受講料と申込み方法

受講料 3,500円(昼食付きは5,000円)

受付開始 12月13日(土) 先着50名様

NPO法人日本文化体験交流塾Webサイト<http://shop.ijcee.com/>からお申込下さい。カード決済により、事前に受講券を販売致します。

お問合せ先 Tel.090-1607-5099 米原または 080-3313-1107 菊地まで メールアドレスinfo@ijcee.com

【集合場所】



【解説】

○土俵まつり

本場所前に行く新土俵の地鎮祭で、神官姿に威儀を正した立行司または三役行司が祭主として二人の脇行司を従え、日本相撲協会の理事長、幹部役員、審判委員の列席の下に執り行う。まず、脇行司が土俵の清め穢いをしてから、祭主が「故実言上」と呼ばれる祝詞を上げ、土俵四隅のそれぞれの房に宿る春夏秋冬の神々に神酒を捧げる。次に、土俵の由来、勝負の道理、五穀豊穡の祈りなどの「方屋開口(かたやかいこう)」を行い、最後に「鎮めもの」と呼ばれる洗米・するめ・昆布・塩・榎(かや)の実・かち栗の六品を土俵の中央に埋めて神酒をかける。

○千葉良規氏の紹介

元 JTB 社員。墨田区の観光プロデューサーとして、2005年9月から同区の観光振興に取り組んでいる。区内の新たな魅力を発掘して街歩きの新企画に結びつける一方、浅草や江東区との連携、水辺の活用などを推進している。昨秋は両国橋架橋 350 年を祝う「ぶらり両国街かど展」を総合プロデュース、街歩き「歴史散歩」を主体にした振興策を実施、地域の活性化を試みた。

<お知らせ>

NPO法人日本文化体験交流塾では会員割引制度を開始しました。正会員には講座・セミナーなどの受講料を20%割引致します。正会員の受講の申込みは氏名・講座名を添えてメールinfo@ijcee.comにてお願い致します。受講料は、当日の徴収となります。なお、正会員の登録及び詳細は、日本文化体験交流塾のWebサイト<http://www.ijcee.com/aboutus/aboutus.html>をご覧ください。年会費は1万円で、入会金5,000円となります。